

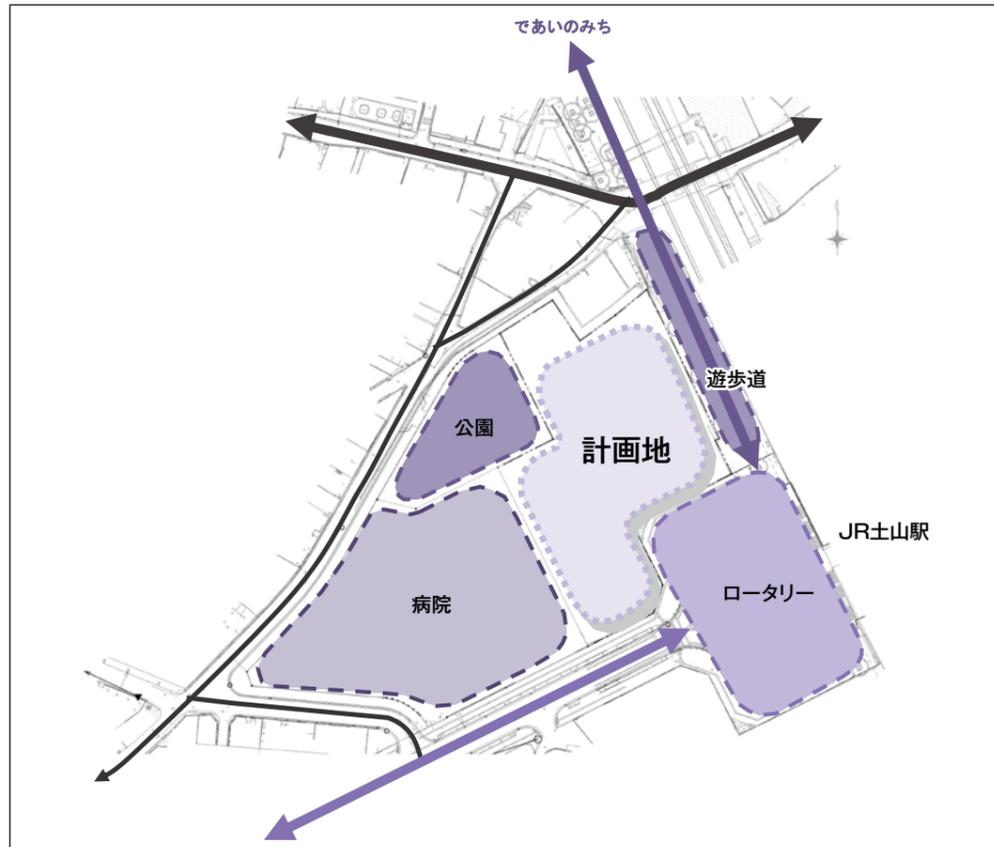
JR土山駅南の活性化に向けて

補正予算を含む15議案を審議

平成24年12月定例会は4日から12日まで開かれ、土山駅南町有地活用事業を含む補正予算4件、条例制定・改正5件、専決処分や人事案件など計12議案を可決・承認、適任としました。また、組織改正の条例制定・改正2件は委員会の継続審査とし、請願1件は不採択としました。(議案審議の結果は5ページに掲載)。
 なお、10人の議員が一般質問を行い、町当局の考えをいただきました。

補正予算 土山駅南側の町有地 土壌の追加調査費など計上

一般会計の補正予算は、4797万7千円増額し、予算額を97億5937万9千円としました。歳出の主な増額は、総務費の土山駅南町有地活用事業で1212万1千円。この町有地(計画地115348㎡)では、埋設物調査などで基準値を超える汚染物質が確認されたため、追加調査費を計上しました。加えて、歩道拡幅と公園整備のため、用地取得に向けた土地鑑定料・調査委託料も盛り込みました。また民生費では、身体障がい者の更生医療・補装具と高齢者や心身障がい者の住宅改造における申請者数、さらに療養介護・生活介護の利用者数それぞれ増加し、父子手帳150部増刷なども含めて計4234万3千円増額しました。教育費は、蓮池小学校の非常用放送機器の更新で154万4千円増額し



▲JR土山駅南側の整備計画

一般会計	
■増額の主なもの	
●障害福祉サービス事業(民生費)	3394万4千円
●土山駅南町有地活用事業(総務費)	1212万1千円
●税外収入還付事業(総務費)	641万7千円
●下水道特別会計繰出事業(土木費)	347万5千円
●身体障害者更生医療費助成事業(民生費)	328万8千円
■減額の主なもの	
●粗大ごみ処理事業(衛生費)	▲1656万5千円
●斎場運営事業(衛生費)	▲225万8千円



▲好評な父子手帳

い者の住宅改造における申請者数、さらに療養介護・生活介護の利用者数それぞれ増加し、父子手帳150部増刷なども含めて計4234万3千円増額しました。教育費は、蓮池小学校の非常用放送機器の更新で154万4千円増額し

減額は、衛生費の斎場運営事業、粗大ごみ処理事業、し尿処理場管理運営事業の計2091万8千円で、平成23年度決算確定による負担金の精算が主なものです。

一方、歳入の主なものは、身体障がい者更生医療費助成や障がい福祉サービスなどに対する国・県からの負担金・補助金

特別会計で 3766万円増額

国民健康保険事業・下水道事業・介護保険事業特別会計の補正予算は、あわせて3766万9千円増額しました。

条例改正 再提案の組織改正 委員会の継続審査に

「事務分掌条例の一部改正」、「教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例制定」による組織改正は、平成24年6月議会で否決された内容を一部変更して再提案されたものです。両議案について、議会では引き続き慎重審査の必要性を認め

総務建設常任委員会で継続審査することにしました。

「子どもグループ」の新設
重点施策の推進と担当事務を見直し、子育てや子ども支援を総合的に推

進めることで、子どもに関する施策を強化します。(担当事務Ⅱ児童福祉、母子・父子福祉、子育て支援、保育所、学童保育所、子育て支援センター)

「ちいき振興グループ」の新設
芸術文化とスポーツ振

興施策の担当事務を教育委員会生涯学習グループから町長部局に移し、地域の活性化と住民との協働による町づくりを一体的に進めます。(担当事務Ⅱ地域振興、地域・国際交流、産業経済、労働、芸術文化、スポーツ)

「教育総務」、「教育推進」両グループへの再編
教育委員会事務局の組織を事業に沿った形で2グループに再編します。

「教育総務グループ」
(担当事務Ⅱ教育委員会、施設、教育予算、学校区、就学援助、学校給食、保健)

「教育推進グループ」
(担当事務Ⅱ教職員、教育相談、青少年育成、社会教育、人権、文化財、平和)

「子どもグループ」
「子どもグループ」としてワンストップを指すことは、行政も議会もまだまだ勉強が必要です。職員の退職なども見据えコミュニケーションをすべきであり、とりあえず設置しようとする発想はどうかと思えます。

「ちいき振興グループ」
「ちいき振興グループ」を完璧にすることはかなり時間が必要ですが、子育て支援の利便性を考えました。人事のことは組織のことであり、組織内部で考えます。